

機器の設定について ～重要情報に対する適切なアクセス制限～

# 機器の設定について

## ～重要情報に対する適切なアクセス制限～

Part1: 基本的対策 — No. 4

## 導 入



近年、インターネットの接続可能なオフィス機器や家電製品が増えています。そのため、組織のネットワークや機器の管理者は、インターネットから機器への不要な通信を遮断する、適切なアクセス制限を行ってからインターネットに接続する、機器のファームウェアを最新の状態にする、などの安全な運用が求められています。

## 導入



日本でも、複合機でスキャンしたデータやFAXで読み取った情報が、設定の不備によって、インターネットから閲覧可能な状態だった事例がありました。

## 導入



このようなオフィス機器や家電製品は、ネットワークやインターネットに接続する前に、設定の確認やセキュリティ対策、ファームウェアの更新を行ってから接続しましょう。

## 事例

図面や地図をスキャンして、  
社内のネットワークを使って  
自分のパソコンにデータとして  
持ってきて処理できる、  
これで少しは便利になるわね。



## 事例

そうだね、でも社長が  
「これでもっと仕事ができるな」って  
言ってたのが気になるなあ～。

## 事例

またまた～、  
冗談ですよ？社長。

冗談じゃないよ、  
これで仕事の効率が上がる訳だからね。  
ねえ名取さん。

## 事例

はい、その通りです。

もう、  
名取さんまで。



## 事例

よし、ネットワークへの  
接続はこれでOK。



## 事例

わあ、これで使えるようになったんですね。



## 事例

まだだよ、次はネットワークのセキュリティ設定をしないと。  
これを適切に設定しておかないと、大変なことになる。




## 事例

何です？  
大変なことって。





## 事例



複合機から、スキャンしたデータや、コピーした内容が、インターネットを通じて部外者の人から見られてしまうからだよ。

## 事例

この複合機から？

そう、君達だけではなく、部外者もインターネットを通じて、この複合機の中にある内容を見る事ができてしまった。今のままだとね。


## 事例



それって、個人情報の漏洩(ろうえい)になるってことですよね？  
私達がスキャンやコピーする情報って、顧客情報が多いもの。



## 事例



その通り、会社の秘密情報の漏洩(ろうえい)にも当たるね。  
だからこそ、たとえ複合機でも、ネットワークやインターネットに  
接続して使用する機器は、パソコンやサーバーなどの、  
IT機器と同様のセキュリティ対策が必要なんだよ。



## 事例

ちゃんと設定をしないと、便利になるけど  
その分リスクもあるんですね。



## 学習の意図



オフィス機器や家電製品などの様々な機器が、ネットワークやインターネットに接続され利便性が高まっている反面、外部から不正にアクセスされるリスクも高まっています。

## 学習の意図



そうした機器の、ちょっとした設定の不備によって、個人情報や**秘密情報**が漏洩(ろうえい)してしまうことは、会社としても大事な信用を無くしてしまう、大きな痛手となります。そうならないためにも、ネットワークやインターネットに接続している機器は、IT機器と同様のセキュリティ対策を行ないましょう。



## 用語解説

### ●秘密情報

企業が有する情報資産（顧客情報、発明情報、ビジネスモデル、取引情報、人事・財務情報など）の中で、他者に対して秘密とすることでその価値を発揮する情報のこと。

#### 【参考】

経済産業省 秘密情報の保護ハンドブック ～企業価値向上に向けて～



## 学習の意図

「機器の設定」について、以下を学習しましょう。

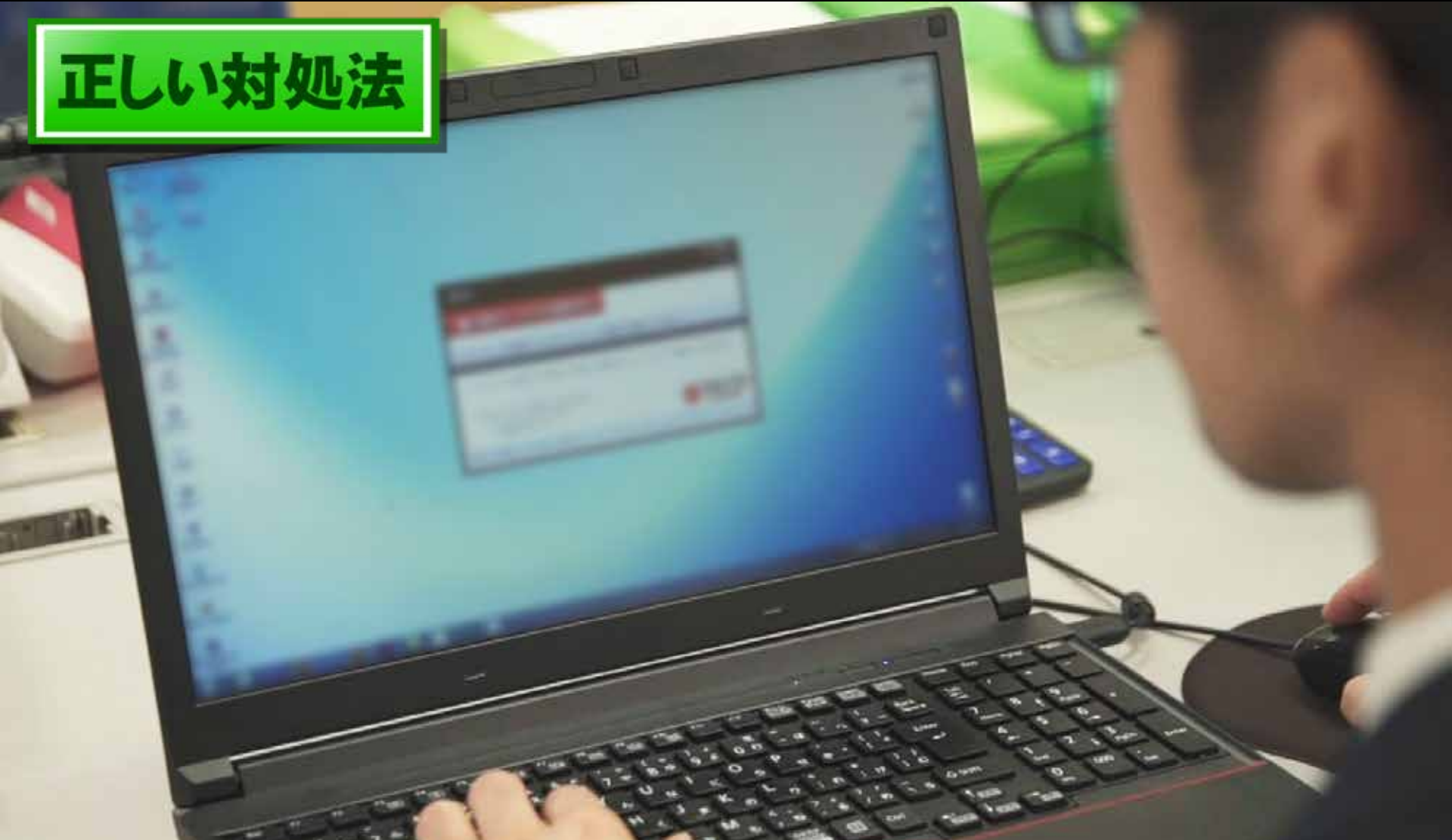
1. ネットワークやインターネットに接続されているオフィス機器なども、IT機器と同様のセキュリティ対策を行なう。

## 正しい対処法



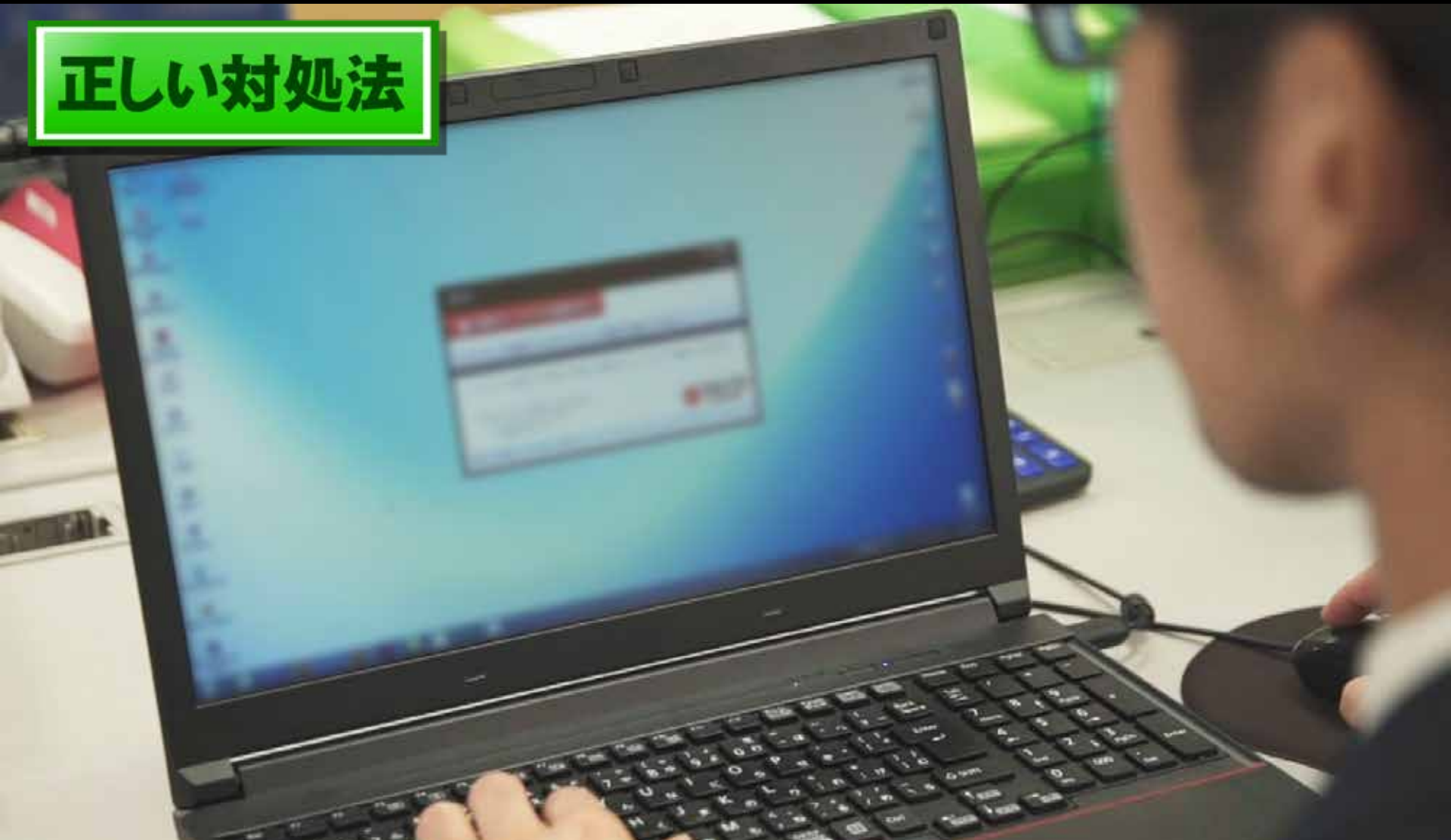
インターネットに接続する機能を備えた複合機などのオフィス機器も、パソコンやサーバーと同様のセキュリティ対策が必要となります。運用されているオフィス機器の説明書に記載のセキュリティ対策を確認し、必要な人だけに情報を共有するなどの設定を行ないましょう。

## 正しい対処法



また、機器の設定を業者等に任せている場合は、インターネットからのアクセスを禁止するなどの、セキュリティ対策を施してもらうよう、お願いしましょう。

## 正しい対処法



設定による情報漏洩(ろうえい)の問題は、社内の機器に留まりません。データ保管などでクラウドサービスを利用されている場合も同様で、適切なセキュリティ設定を怠っていると、クラウド上で保存した秘密情報が、意図せず外部から閲覧されてしまいます。こうしたサービスにも、必要な情報のみ公開する、必要な人だけに情報を共有する、などの設定が必要です。



## 用語解説

### ●クラウド

仮想化等の技術を用いてコンピュータの機能（ハードウェアやソフトウェア、アプリケーションの実行環境やアプリケーションそのものなど）を用意し、それをインターネット経由で自由に柔軟に利用する仕組みの総称。企業や個人が個別にコンピュータやアプリケーションを所有して利用するのに比べて、ITに関する開発や調達や運用・保守の負担が軽減され、コスト削減にもなる。

#### 【参考】

IPA 中小企業のためのクラウドサービス安全利用の手引き

### ●秘密情報

企業が有する情報資産（顧客情報、発明情報、ビジネスモデル、取引情報、人事・財務情報など）の中で、他者に対して秘密とすることでその価値を発揮する情報のこと。

#### 【参考】

経済産業省 秘密情報の保護ハンドブック ～企業価値向上に向けて～

## 確認テスト 問題

### No.4 機器の設定について ～重要情報に対する適切なアクセス制限～

#### Q1

ネットワーク接続機器の設定について、適切なのはどちらでしょう。

選択肢	
	1. 業務効率を上げるため、社外から利用を許可し、誰でも見られるように設定して公開している。
	2. 社外はもちろん、社内でも使用できる人を限定して設定した。

次のページで正解と  
解説を確認しましょう

## 確認テスト 正解と解説

### Q1

ネットワーク接続機器の設定について、適切なのはどちらでしょう。

正解	選択肢
	1. 業務効率を上げるため、社外から利用を許可し、誰でも見られるように設定して公開している。
●	2. 社外はもちろん、社内でも使用できる人を限定して設定した。

### 【解説】

ネットワークやインターネットに接続して使用する機器や、クラウドサービスの情報は、必要な情報のみ公開する、必要な人だけに情報を共有する、などの設定を行ってから使用しましょう。